

II 成立条件

(1) 自然条件

* 好漁場の条件... 栄養塩類が豊富・プランクトンの発生量多

潮目 (暖流と寒流が会合 暖海魚・寒海魚の双方を漁獲)

バンク (大陸棚より浅い海底面 = 魚介類の生息・産卵に好適)

沈水海岸 (水深の深い天然の良港 養殖業の発達 = 真珠・ハマチ・サケ・マス)

(2) 社会条件

・資本 ()

・技術 (各種漁法 例 トロール漁法)

・輸送手段 ()

・政策 (1970年代～)

*

III 200 海里規制と水産業

(1) 背景

・1960年代... 資源ナショナリズム

(例) 資源カルテルの結成... OPEC OAPEC

・1970年代... 水産資源へ拡張 = 200 海里規制水域

沿岸国の経済的主権を他国に対して優先させる水域

規制方法 = 漁業専管水域 (水産資源のみ)

経済水域 (水産資源 +)

(2) 200 海里規制と日本の水産業

- ・遠洋漁業の不振 ()
- ・漁獲量の減少 ()
- ・水産物自給率の低下 ()
- ・水産物輸入の増加 (輸入=世界3位... 9.6%)

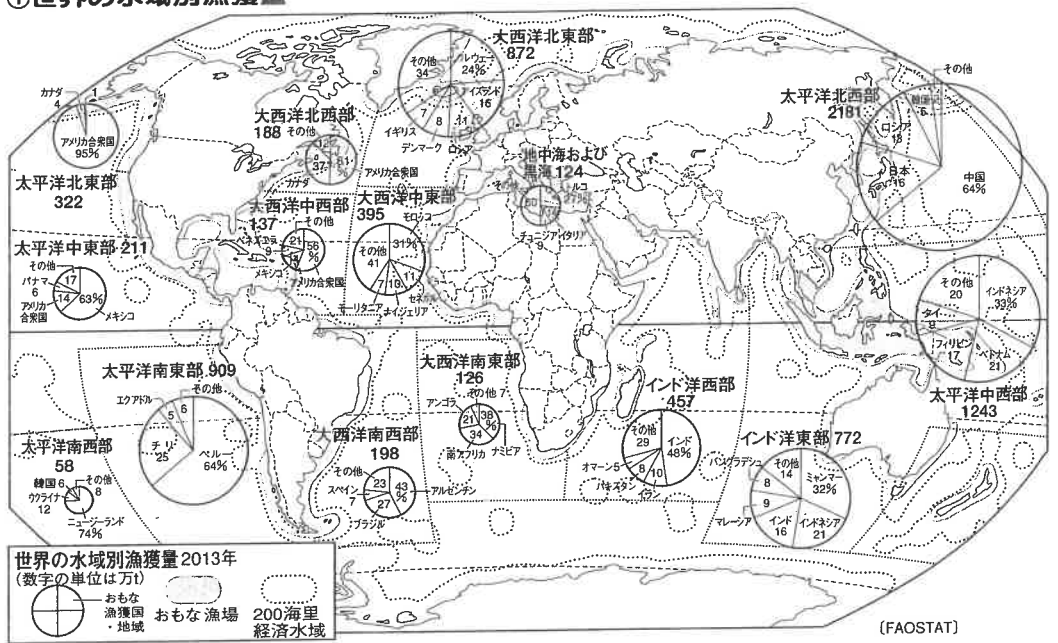
Ⅲ 水産物の生産と消費 (2018 %)

漁獲量		輸出		輸入	
中国	15.4	中国	13.5	アメリカ	14.9
インドネシア	7.5	ノルウェー	7.2	中国	11.5
ペルー	7.4	ベトナム	5.4	日本	9.6
インド	5.5	インド	4.2	スペイン	5.4
ロシア	5.3	チリ	4.1	イタリア	4.4
	9739.8 万トン		1654.44 億ドル		1596.93 億ドル

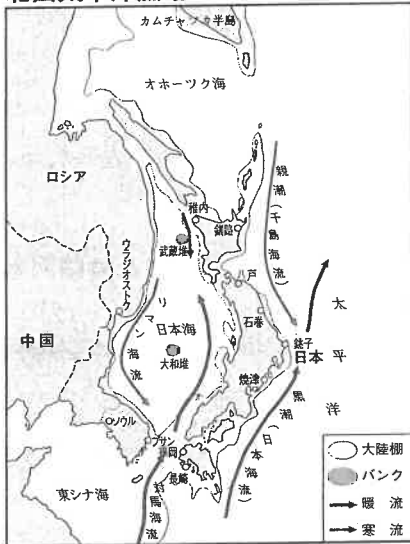
* 日本の水産物輸入 (2019%)

中国	18.3
チリ	9.6
アメリカ	8.1
ロシア	7.5
ベトナム	7.2
	1.6092 兆円

①世界の水域別漁獲量



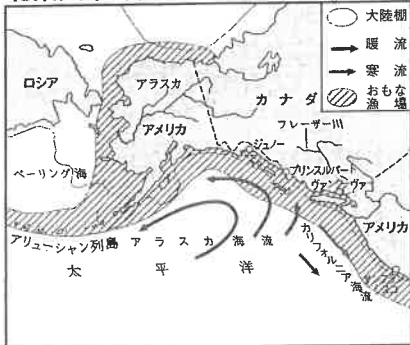
②世界の主要漁場
北西太平洋漁場



北東大西洋漁場



北北太平洋漁場



北西大西洋漁場

